

閉会中の調査報告

産業経済常任委員会

委員会開催日時：平成 29 年 7 月 27 日(木) 午後 1 時 25 分～午後 3 時 35 分
平成 29 年 8 月 22 日(火) 午後 0 時 57 分～午後 3 時 35 分

出席者：委員長	栗津寛三
副委員長	松井圭子
委員	矢野進次
委員	赤祖父裕美
委員	加藤貞一郎
委員	藤川みゆき
議長	松原栄樹

説明員：建設経済部長
産業振興戦略局次長
産業振興戦略局管理監
商工観光労政課長

議事案件

○事務事業評価について

・観光推進対策事業

観光推進対策事業について委員会を 2 日に分け行ないました。

1 日目は三大まつりを中心に、2 日目は全体について執行部より概要説明を受け、その後事務事業評価をいたしました。

観光のため本市に訪れた方々に PR がどのように行なわれたか、またイベント開催により上手く地域の活性化が図られていたのかを確認いたしました。

また観光協会の事業報告についても、自主的な努力など説明がありました。

委員会としてのまとめは以下の通りです。

【事業全体】

- ・本市における集客の 3 割はイベントによるものである。
- ・持続可能で独自性が求められるべきであり、そのためには歴史的な文化財の活用に尽

力し、特産品や工芸など魅力の発信が必要と考える。

- ・観光協会が市以外に、企業とのタイアップをするなど自主努力を評価します。

【三大まつり】

- ・補助金事業として更なる事業展開は難しいと感じる。
- ・市においてこれまで以上に企業・団体と連携を図るべきではないか。
- ・イベントの集約とプロデュースを市が責任をもって行なうべきであり、例えば「さくらまつり」と「石部宿まつり」を併せて一カ所で開催するなど、協力者の負担軽減を考慮することが必要。
- ・夏まつり等において駐車場や道路の警備費用が多額である。駐車場利用者からイベント協力金として徴収をするなどの工夫をしてはどうか。またゴミ袋を渡すことでゴミの持ち帰りに協力をお願いします。
- ・近隣道路の交通対策も急務である。JR など公共交通との連携を含めバスの柔軟な運行で渋滞軽減を図る。

事業チェックシートの「仕分け」「理由(複数選択可)」について再考すべきであるとの意見がありました。

今後の事務事業評価においては「理由(複数選択可)」を省いてもよいと考えます。